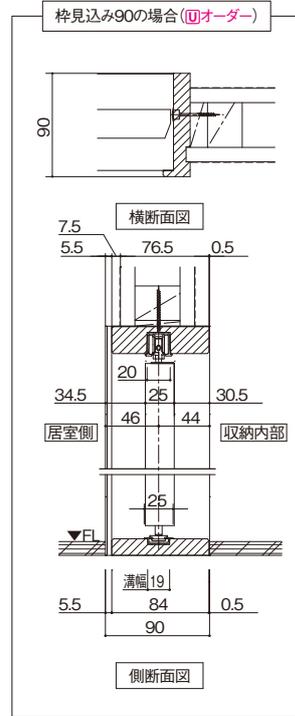
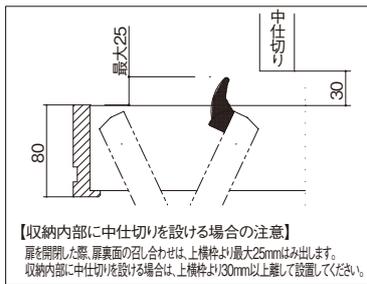
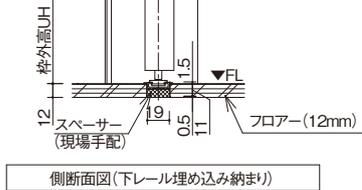
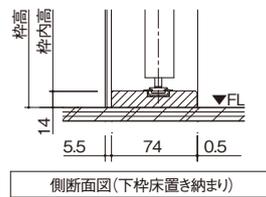
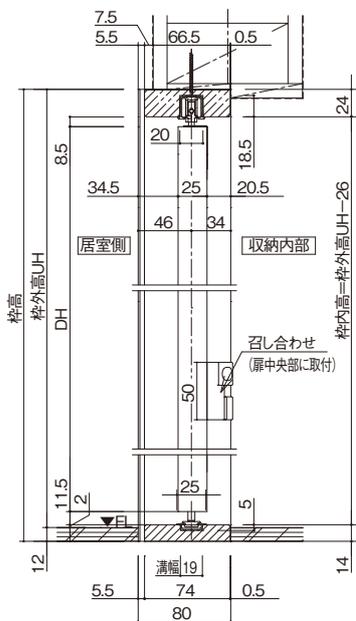
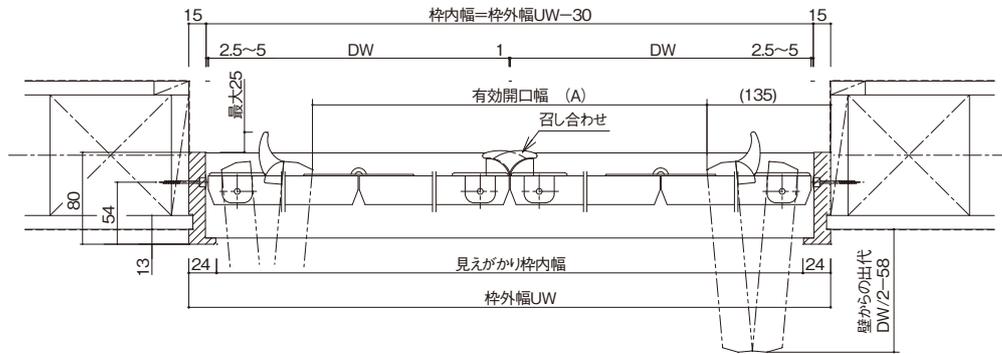


ペリティス	
商品	P.794
Ⓜオーダー	P.850
Ⓜオーダー発注書	P.868

寸法図 (単位: mm)

4方枠	固定枠
-----	-----



- 内装ドア
- 開き戸・引戸
- 折れ戸
- 戸襖ドア・戸襖引戸
- 幅広上吊り引戸
- 自動ドア
- しきり窓
- 室内窓
- 収納用建具
- 折れ戸
- 3枚連動引戸
- 開き扉
- 収納用内部パーツ
- 玄関用収納
- クロークボックス
- エントランスパーツ
- コンボリア
- 造作部材・腰壁部材
- スリット格子
- 窓枠セット
- ジャストカットオーダー
- インテリアカウンター
- 階段・手すり
- 防音建材
- 室内物干しユニット
- 床下収納ユニット
- 点検口
- はしごユニット
- 補修用部材

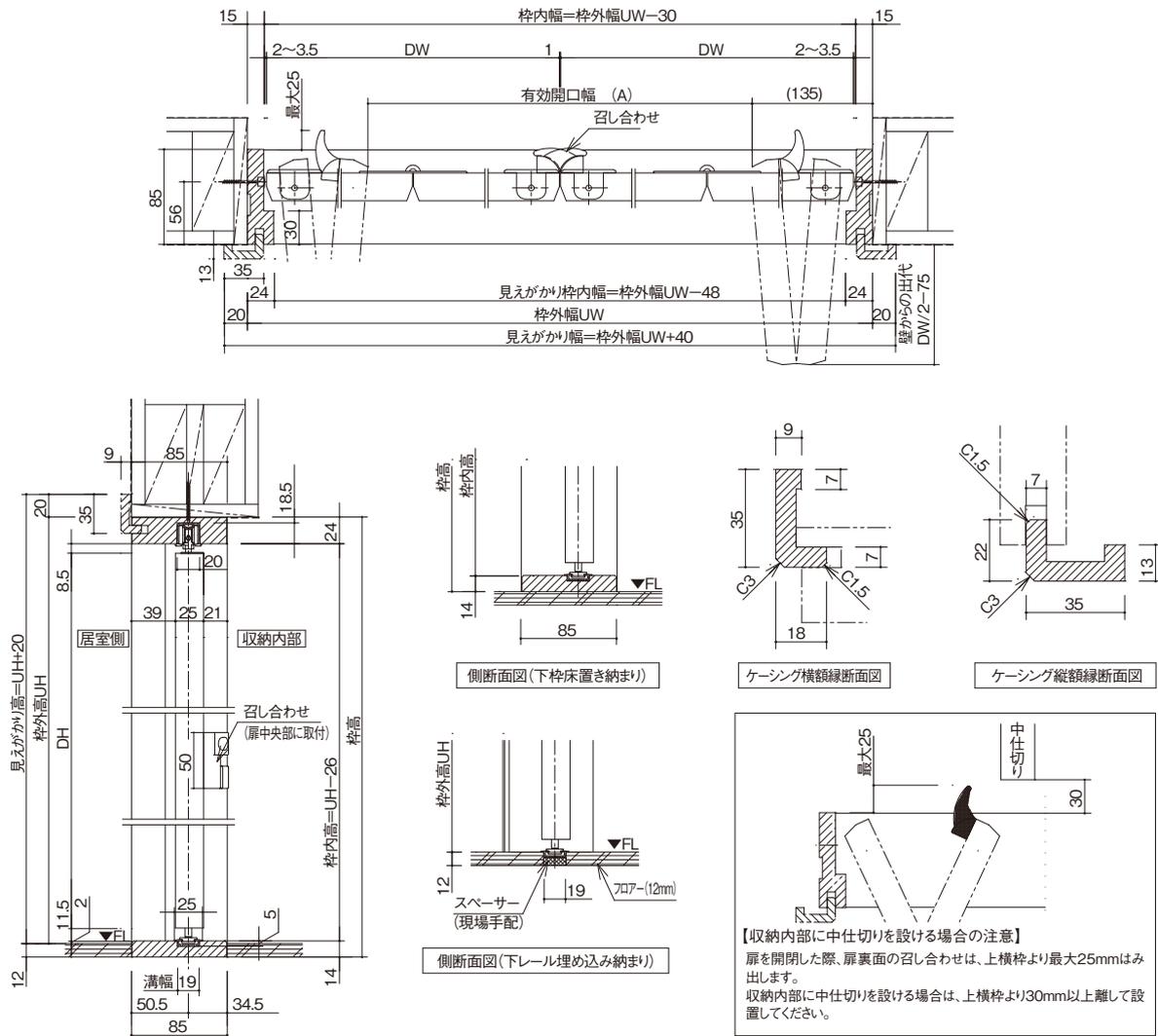
対応	枠外寸法			扉寸法		扉枚数	召し合わせ 個数	有効開口幅 (A)
	枠幅	枠高	枠外幅UW	枠外高UH(枠高寸法)	DW(扉幅)			
0.5間	8尺	7尺	735	2350(2362)	700	2304	1	なし
	7尺			2035(2047)				
0.75間	8尺	7尺	1190	2350(2362)	576	2304	2	1
	7尺			2035(2047)		1989		
1.0間S	8尺	7尺	1645	2350(2362)	804	2304	2	1
	7尺			2035(2047)		1989		
1.0間	8尺	7尺	1708	2350(2362)	834	2304	3	2
	7尺			2035(2047)		1989		
1.5間	8尺	7尺	2541	2350(2362)	834	2304	3	2
	7尺			2035(2047)		1989		
2.0間	8尺	7尺	3380	2350(2362)	834	2304	4	3
	7尺			2035(2047)		1989		

■メーターモジュール対応品の場合(図面は上記の4方枠固定枠と同じです)

対応	枠外寸法			扉寸法		扉枚数	召し合わせ 個数	有効開口幅 (A)
	枠幅	枠高	枠外幅UW	枠外高UH(枠高寸法)	DW(扉幅)			
825mm	8尺	7尺	825	2350(2362)	790	2304	1	なし
	7尺			2035(2047)		1989		
1320mm	8尺	7尺	1320	2350(2362)	641	2304	2	1
	7尺			2035(2047)		1989		
1820mm	8尺	7尺	1820	2350(2362)	892	2304	2	1
	7尺			2035(2047)		1989		

寸法図 (単位: mm)

4方枠 ケーシング枠



対応		枠外寸法		扉寸法		扉枚数	召し合わせ 個数	有効開口幅 (A)
枠幅	枠高	枠外幅UW	枠外高UH(枠高寸法)	DW(扉幅)	DH(扉高)			
0.5間	8R	735	2350(2362)	700	2304	1	なし	576
	7R		2035(2047)		1989			
0.75間	8R	1190	2350(2362)	576	2304	2	1	920
	7R		2035(2047)		1989			
1.0間S	8R	1645	2350(2362)	804	2304	2	1	1375
	7R		2035(2047)		1989			
1.5間	8R	2541	2350(2362)	834	2304	3	2	2144
	7R		2035(2047)		1989			

内装ドア

開き戸・引戸

折れ戸

戸襖ドア・戸襖引戸

幅広上吊り引戸

自動ドア

しきり窓

室内窓

収納用  
建具

折れ戸

3枚連動引戸

開き扉

収納用  
内部パーツ

玄関用  
収納

クロークボックス

エントランス  
パーツ

コンポリア

造作部材・  
腰壁部材

スリット格子

窓枠セット  
ジャストカット  
オーダー

インテリア  
カウンター

階段・  
手すり

防音建材

室内物干し  
ユニット

床下収納  
ユニット

点検口

はしご  
ユニット

補修用  
部材

ペリティス	
商品	P.794
㊟オーダー	P.850
㊟オーダー発注書	P.868

寸法図 (単位:mm)

- 内装ドア
- 開き戸・引戸
- 折れ戸
- 戸横ドア・戸横引戸
- 幅広上吊り引戸
- 自動ドア

- しきり窓
- 室内窓

- 収納用建具
- 折れ戸
- 3枚連動引戸
- 開き扉

- 収納用内部パーツ

- 玄関用収納
- クロークボックス
- エントランスパーツ
- コンボリア

- 造作部材・腰壁部材

- スリット格子

- 窓枠セット
- ジャストカット
- オーダー

- インテリアカウンター

- 階段・手すり

- 防音建材

- 室内物干しユニット

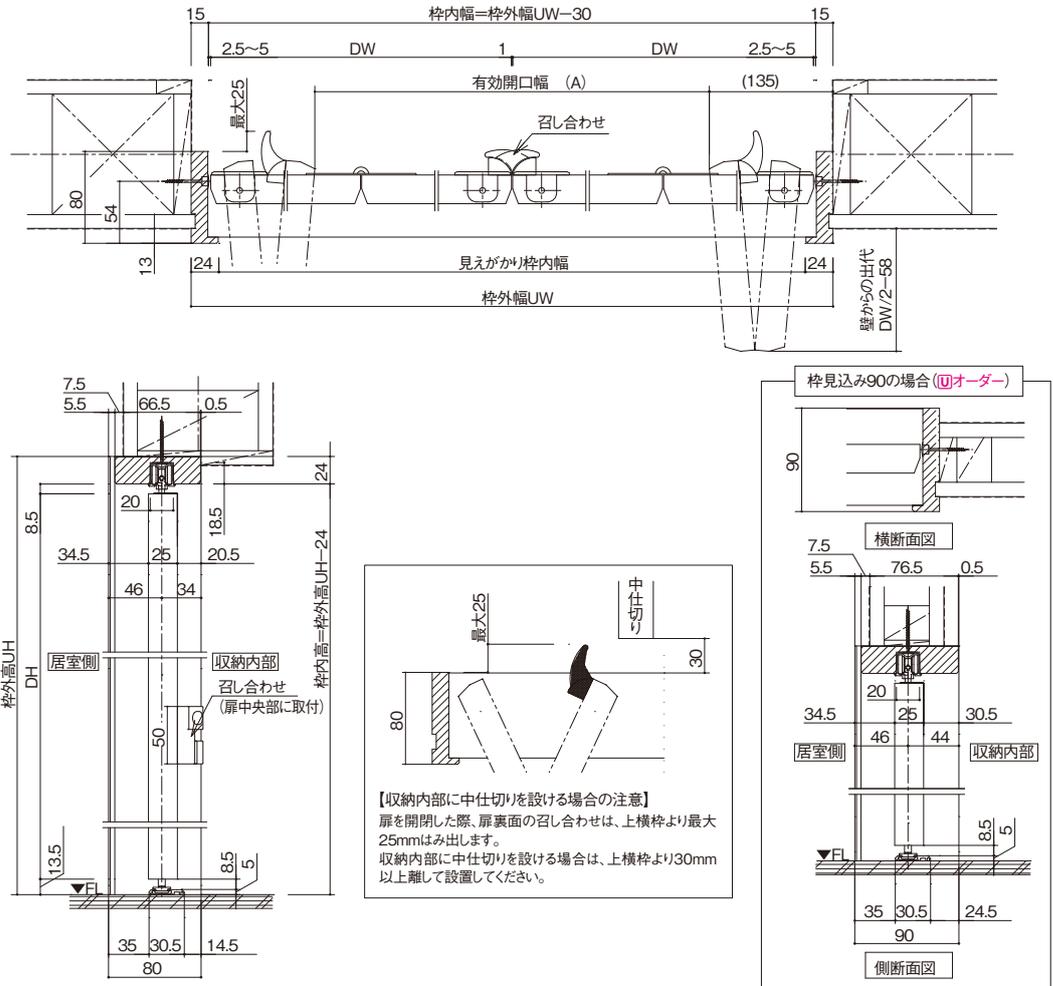
- 床下収納ユニット

- 点検口

- はしごユニット

- 補修用部材

直付下レール 3方枠 固定枠



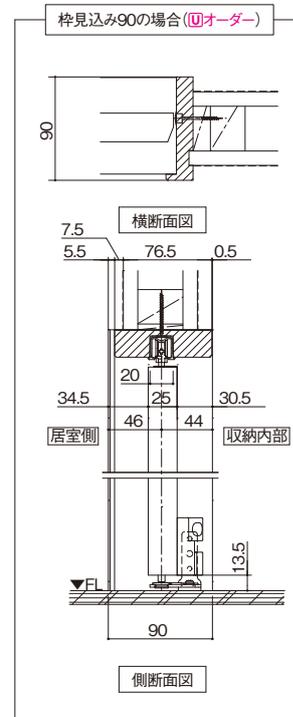
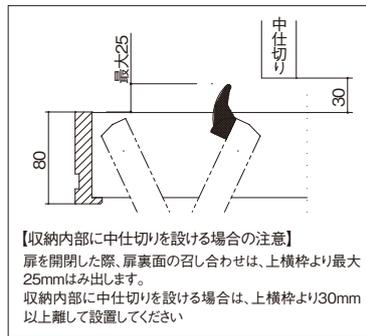
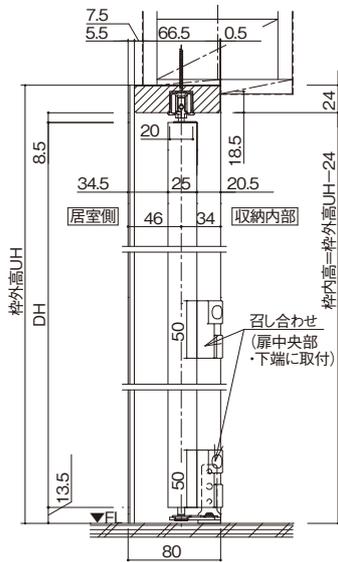
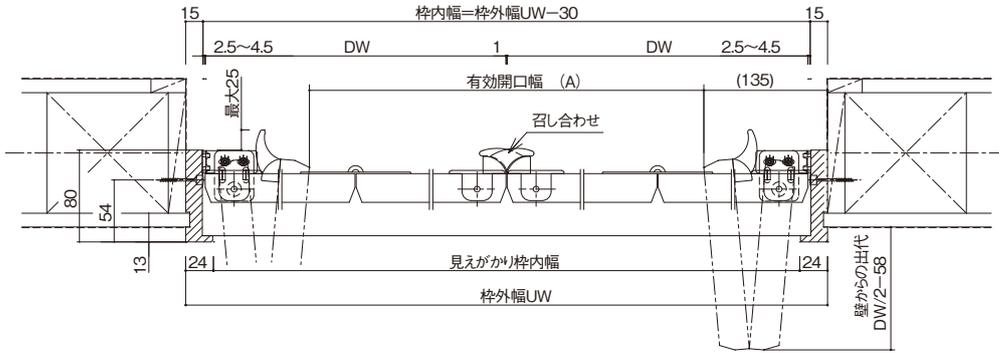
対応		枠外寸法		扉寸法		扉枚数	召し合わせ個数	有効開口幅 (A)
枠幅	枠高	枠外幅UW	枠外高UH(枠高寸法)	DW(扉幅)	DH(扉高)			
0.5間	8尺	735	2350(2350)	700	2304	1	なし	576
	7尺		2035(2035)		1989			
0.75間	8尺	1190	2350(2350)	576	2304	2	1	920
	7尺		2035(2035)		1989			
1.0間S	8尺	1645	2350(2350)	804	2304	2	1	1375
	7尺		2035(2035)		1989			
1.0間	8尺	1708	2350(2350)	834	2304	3	2	2144
	7尺		2035(2035)		1989			
1.5間	8尺	2541	2350(2350)	834	2304	3	2	2144
	7尺		2035(2035)		1989			
2.0間	8尺	3380	2350(2350)	892	2304	4	3	2856
	7尺		2035(2035)		1989			

■メーターモジュール対応品の場合(図面は上記の直付下レール3方枠と同じです)

対応		枠外寸法		扉寸法		扉枚数	召し合わせ個数	有効開口幅 (A)
枠幅	枠高	枠外幅UW	枠外高UH(枠高寸法)	DW(扉幅)	DH(扉高)			
825mm	8尺	825	2350(2350)	790	2304	1	なし	666
	7尺		2035(2035)		1989			
1320mm	8尺	1320	2350(2350)	641	2304	2	1	1050
	7尺		2035(2035)		1989			
1820mm	8尺	1820	2350(2350)	892	2304	2	1	1550
	7尺		2035(2035)		1989			

寸法図 (単位: mm)

ノン下レール 3方枠 固定枠



〈ご注意〉  
本商品は、ピボット式ですので、内部に引出し等を設置する場合は、あらかじめ扉厚 (枠外から135mm) を逃がしたプランにしてください。

対応		枠外寸法		扉寸法		扉枚数	召し合わせ 個数	有効開口幅 (A)
枠幅	枠高	枠外幅UW	枠外高UH (枠高寸法)	DW (扉幅)	DH (扉高)			
0.5間	8尺	735	2350 (2350)	700	2304	1	1	576
	7尺		2035 (2035)		1989			
0.75間	8尺	1190	2350 (2350)	576	2304	2	2	920
	7尺		2035 (2035)		1989			
1.0間S	8尺	1645	2350 (2350)	804	2304	2	2	1375
	7尺		2035 (2035)		1989			
1.0間	8尺	1708	2350 (2350)	834	2304	2	2	1438
	7尺		2035 (2035)		1989			

内装ドア

開き戸・引戸

折れ戸

戸襖ドア・戸襖引戸

幅広上吊り引戸

自動ドア

しきり窓

室内窓

収納用  
建具

折れ戸

3枚連動引戸

開き扉

収納用  
内部パーツ

玄関用  
収納

クロークボックス

エントランス  
パーツ

コンポリア

造作部材・  
腰壁部材

スリット格子

窓枠セット  
ジャストカット  
オーダー

インテリア  
カウンター

階段・  
手すり

防音建材

室内物干し  
ユニット

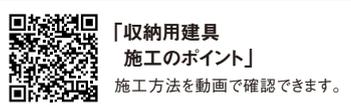
床下収納  
ユニット

点検口

はしご  
ユニット

補修用  
部材

ペリティス	
商品	P.794
☒オーダー	P.850
☒オーダー発注書	P.868



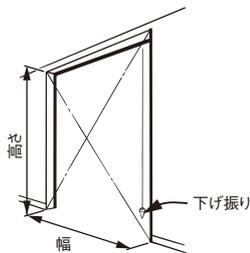
施工のポイント (寸法単位: mm)

■4方枠

■枠の取り付け施工準備

●施工前の準備

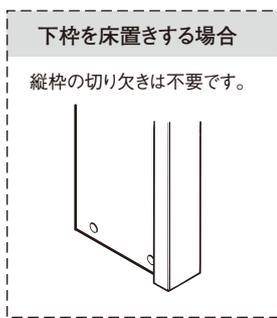
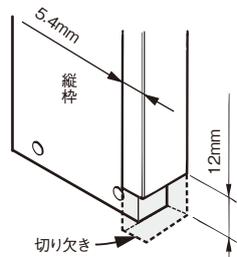
**注** 上吊りです。横枠は強度のある梁に取り付けてください。(梁が弱いと扉が下がって開閉できません。)



[参考]〈扉重量約30kg×枚数の重さ〉が梁にかかります。  
●開口部に幅・高さ・奥行き各内寸法の精度を十分に確保する。

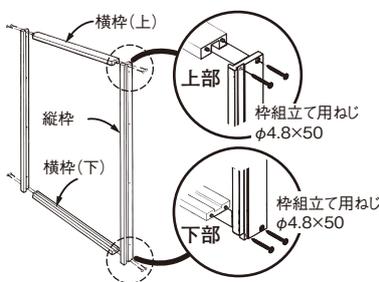
①縦枠の切り欠き

●縦枠を下図の寸法で切り欠く。(12mmフロアーの場合)



②枠の組み立て

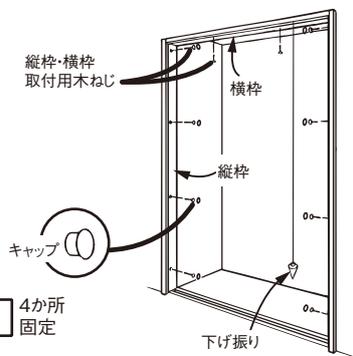
●縦枠と横枠を組み立て用ねじで組み立てる。  
※横枠にはめ込んである上下レールを取り外しておいてください。



③枠の取り付け

①縦枠の取り付け

縦枠内側の下穴位置に付属の取付用木ねじで固定し、キャップを取り付ける。(左右各4か所固定)



②横枠の取り付け

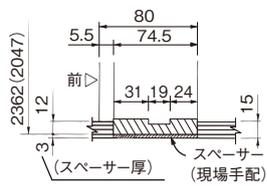
横枠(上)のレール溝底面に下穴をあけ、付属の取付用木ねじで固定する。

・0.5間	・1.5間	} 4か所 固定
・0.75間	・2.0間	
・1.0間S		
・1.0間		

2か所固定

※ピッチは均等に割り振ってください。

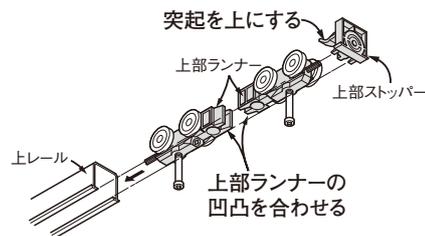
**注** 15mmフロアーの場合、3mmのスペーサー(現場手配)が必要です。



④上部ランナー・上部ストッパーの取り付け

●上部ランナーの凹凸が合うように上レールの中へ挿入する。上部ストッパーの突起が上になるように上レールに取り付ける。(レール取り付け後は入りません)

**注** 上部ランナーの向きを間違えると走行不良が起きたり、吊り元固定ストッパーが取り付けなくなります。

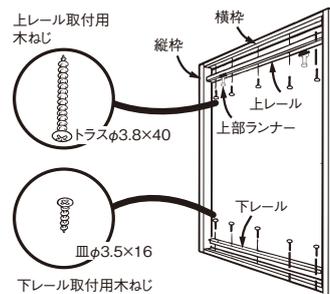


■上部ランナーの凹凸方向(平面図)

0.5間/幅825mm		0.75間/1.0間S/1.0間/幅1320mm/幅1820mm	
上部ストッパー	上部ランナー		
1.5間		2.0間	

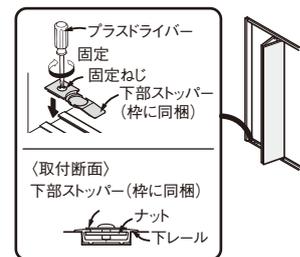
⑤レールの取り付け

●上下レールを付属の取付用木ねじで固定する。  
●レールは切断しないでください。

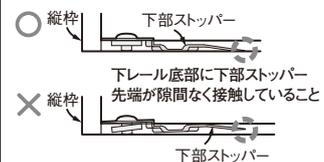


⑥下部ストッパーの取り付け

●下レールの扉吊り元側にレールに沿うように下部ストッパーを下レールのつばを挟んで取り付ける。



**注** ●固定ねじを締め付け過ぎないでください。(ストッパーが変形するおそれがあります。)  
●下レールと下部ストッパーの先端がぎっしり沿うように施工する。(下部ストッパーの先端が下レールから離れていると、下部ランナーとの干渉により、変形・破損のおそれがあります。)



■ストッパー取り付け位置



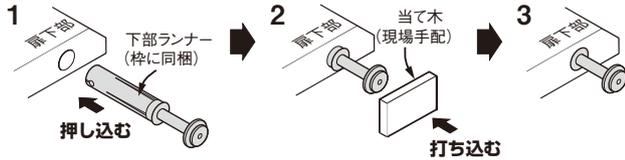
施工のポイント (寸法単位: mm)

■4方枠

扉吊り込み施工手順

① 下部ランナー (枠に同梱) の取り付け

● 下部ランナーを押し込み、当て木 (現場手配) の上から打ち込む。



**注** 下部ランナーに対して垂直に打ち込んでください。垂直に打ち込まないと樹脂部分が割れるおそれがあります。

② 扉の吊り込み



**注** 養生材を敷き、商品および床面に傷がつかないように作業してください。

1. 下部ランナーを下レールに落とし込む

**注**

- 下部ランナーが下レールに確実に入っていることを確認してください。
- 下部ランナーで枠やレールなどに傷をつけないようにしてください。

2. ベースカップの溝に上部ランナーの軸を合わせ、扉はさみ込む

3. 扉をはさみ込んだ状態で持ち上げ、吊り込む

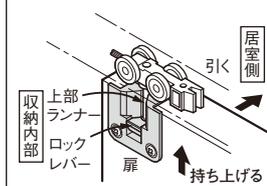
4. 扉の納まりを確認する

- 納まっている
- 隙間がある

**注** 扉が確実に取り付けいたことを必ず確認する。確実に取り付けしていないと、扉の落下の原因となり、けがをするおそれがあります。

■扉の外しかた

ロックレバーを上押し、扉を持ち上げて居室側に引き、扉を上部ランナーから引き離す。



※ 躯体のくりにによっては外れない場合があります。高さ調整で扉をできるだけ高く上げてください。

③ 扉の固定

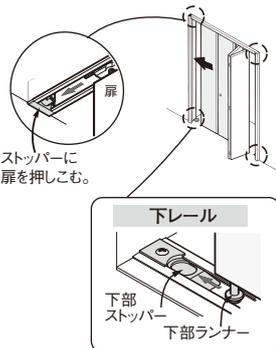
1. 固定する扉を1枚のばし、上下固定する。



2. 固定した扉を折りたたむ。



3. 反対側の扉をのばし、上下固定する。



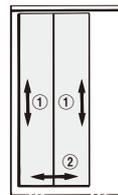
④ 扉の調整

● 扉間の隙間が約1mmになるよう、下部ストッパーの位置を調整する。  
※ 固定位置が上下でずれると、キャッチ力が弱まります。



■調整方法

① 上部ランナーの調整  
±3mmまで調整



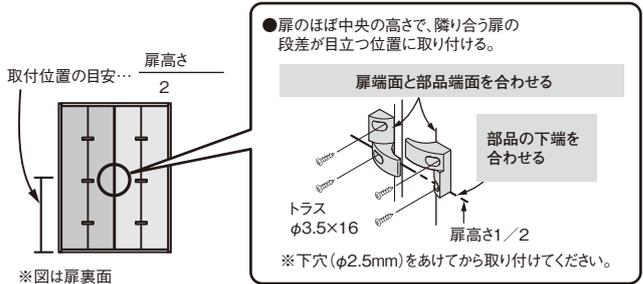
② 下部ストッパーの調整



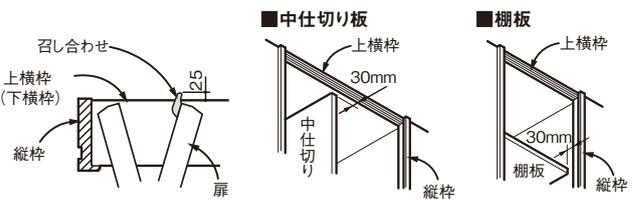
**注** ● 調整後、必ずしっかりとねじを締めてください。  
● 調整後、必ず2~3回開閉し、扉が確実に閉まっていることを確認してください。

⑤ 召し合わせの取り付け

● 扉召し合わせを取り付ける。(0.5間の場合、取り付けの必要はありません。) クローゼット内の棚板や中仕切りに干渉しない位置に取り付けてください。



扉を開閉した際に、扉裏面の召し合わせは上横枠 (下横枠) から最大25mmはみ出します。クローゼット内の棚板・中仕切りは、召し合わせと干渉しない位置に取り付けてください。

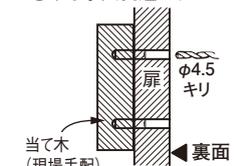


⑥ 取っ手の取り付け

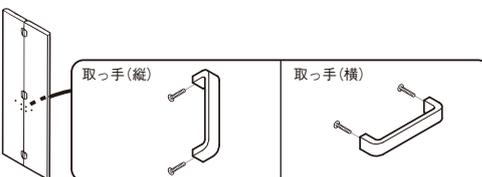
① 取っ手の左右勝手を決め、扉裏面から片方の扉の取っ手を取り付ける穴のみ貫通穴をあける。

● 取っ手穴貫通のしかた

**注** 取っ手の種類により貫通させる穴が異なります。(誤った穴を貫通すると扉が使用できなくなります。)



② 取っ手を取り付ける。



内装ドア

開き戸・引戸

折れ戸

戸襖ドア・戸襖引戸

幅広上吊り引戸

自動ドア

しきり窓

室内窓

収納用建具

折れ戸

3枚連動引戸

開き扉

収納用内部パーツ

玄関用収納

クロークボックス

エントランスパーツ

コンポリア

造作部材・腰壁部材

スリット格子

窓枠セット

ジャストカット

オーダー

インテリアカウンター

階段・手すり

防音建材

室内物干しユニット

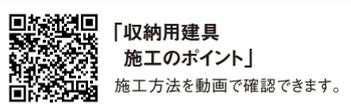
床下収納ユニット

点検口

はしごユニット

補修用部材

ペリティス	
商品	P.794
☒オーダー	P.850
☒オーダー発注書	P.868



施工のポイント (寸法単位: mm)

■直付下レール3方枠 / ノン下レール3方枠

■ 枠の取り付け施工手順

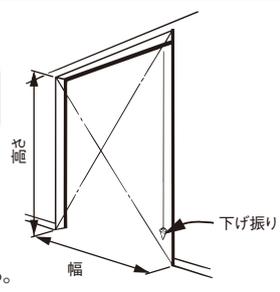
● 施工前の準備

**注** 上吊りです。横枠は強度のある梁に取り付けてください。  
(梁が弱いと扉が下がって開閉できません。)

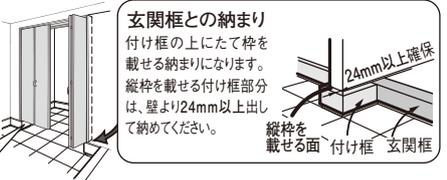
[参考] (扉重量約30kg×枚数の重さ)が梁にかかります。

- 開口部に幅・高さ・奥行の各内寸法の精度を十分に確保する。
- 柱またはたて枠の垂直、床面・よこ枠の水平をそれぞれ下げ振り・水準器でよく確認する。

※幅・高さの開口部寸法は、「枠製品寸法図」を参照してください。

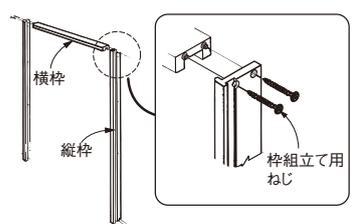


枠を直接土間面の上、タイルの上に取り付けしないでください。  
扉開閉時の靴との衝突防止、および水避けのため、土間から30mm以上離して設置してください。



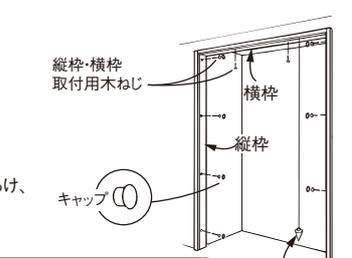
① 枠の組み立て

- 縦枠と横枠を組み立て用ねじで組み立てる。  
※横枠にはめ込んである上下レールを取り外しておいてください。



② 枠の取り付け

- ① 縦枠の取り付け  
縦枠内側の下穴位置に付属の取付用木ねじで固定し、キャップを取り付ける。(左右各4か所固定)
- ② 横枠の取り付け  
横枠(上)のレール溝底面に下穴をあけ、付属の取付用木ねじで固定する。  
※ピッチは均等に割り振ってください。

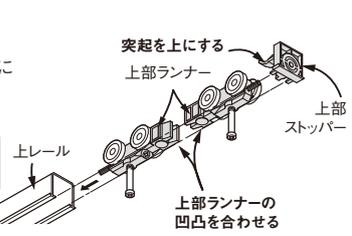


**注** ハの字にならないよう、必ず水平・垂直に取り付けてください。  
水平・垂直に取り付けしないと、ガタツキの原因となります。

③ 上部ランナー、上部ストッパーの取り付け

- 上部ランナーの凹凸が合うように上レールの中へ挿入する。  
上部ストッパーの突起が上になるように上レールに取り付ける。  
(レール取り付け後は入りません)

**注** 上部ランナーの向きを間違えると走行不良が起きたり、上部ストッパーが取り付けられなくなります。



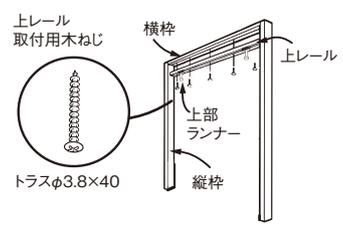
■ 上部ランナーの凹凸方向 (平面図) ノン下レール (3方枠) は0.5間、0.75間、1.0間S、1.0間のみ

0.5間 / 幅825mm	1.5間
0.75間 / 1.0間S / 1.0間 / 幅1320mm / 幅1820mm	2.0間

④ レール・ストッパーの取り付け

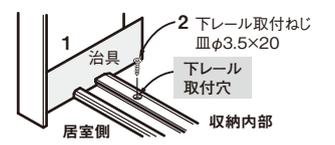
- ① 上レールを付属の取付用木ねじで固定する。  
※レール取り付け後、上部ランナーがスムーズに動くか確認してください。

**注** ● レールは切断しないでください。  
● レールを枠にきっちりはめ込んでください。

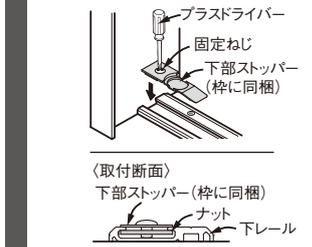


直付下レール

1. 治具を使って、下レールを指定の位置に設置する。
2. 下レールを指定の取付ねじで固定する。  
レールの取付方向を確認してください。



3. 下レールの扉吊り元側にレールに沿うように下部ストッパー (枠と同梱) を下レールのつばを挟んでねじで取り付ける。



**注** ● 固定ねじを締め付け過ぎないでください。(ストッパーが変形するおそれがあります。)  
● 下レールと下部ストッパーの先端がきちんと沿うように施工する。(下部ストッパーの先端が下レールから離れていると、下部ランナーとの干渉により、変形・破損のおそれがあります。)

ストッパー取付位置 (上部・下部同様)

0.5間 (折れ戸1枚)	1.5間 (折れ戸3枚)
0.75間 (折れ戸2枚)	2.0間 (折れ戸4枚)
1.0間S・1.0間 (折れ戸2枚)	

ノン下レール (3方枠) は0.5間、0.75間、1.0間S、1.0間のみ

ノン下レール

1. 下軸受けの左右調整ねじを外し、納まりに合わせて左右を変更する。
2. 型紙を使って下穴 (φ2.5mm) をあける。(2か所)



3. 下軸受けの上の2か所を仮固定し、傾きを調整する。
4. 下の固定穴を固定し、上の2か所を本固定する。



施工のポイント (寸法単位: mm)

■直付下レール3方枠 / ノン下レール3方枠  
扉吊り込み施工手順

① 下部ランナー (枠と同梱) の取り付け

ノン下レールの場合は、吊り元側の扉のみ取り付け

- 下部ランナーを押し込み、当て木 (現場手配) の上から打ち込む。



**注** 下部ランナーに対して垂直に打ち込んでください。垂直に打ち込まないと樹脂部分が割れるおそれがあります。

② 扉の吊り込み

1. 下部ランナーを下レール、下軸受けに落とし込む

直付下レール ノン下レール

下部ランナー カチャ 下軸受け

● 下部ランナーが下レール、下軸受けに確実に入っていることを確認してください。  
● 下部ランナーで枠やレールなどに傷をつけないようにしてください。

2. ベースカップの溝に上部ランナーの軸を合わせ、扉はさみ込む

ベースカップ 軸 上部ランナー 是さむ

3. 扉はさみ込んだ状態で、吊り込む

カチャ 持ち上げる

4. 扉の納まりを確認する

扉上部 扉下部 ○ 隙間がある

○ 納まっている

直付下レール ノン下レール

ベースカップ 軸 扉 (断面)

■ 扉の外し方

ロックレバーを上押し、扉を持ち上げて居室側に引き、扉を上部ランナーから引き離す。

※ 躯体のくもりによっては外れない場合があります。高さ調整で扉をできるだけ高く上げてください。

居室側 引き 持ち上げる

上部ランナー ロックレバー 扉

● ノン下レールの場合

**注** 吊り込んだ扉が斜めになって、床面を傷つけないように注意してください。

**注** 扉が確実に取り付けいたことを必ず確認してください。確実に取り付けしていないと、扉が落下し、けがをする原因となります。

③ 扉の固定

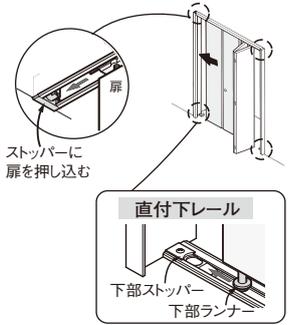
1. 固定する扉を1枚のぼし、上下固定する。



2. 固定した扉を折りたたむ。



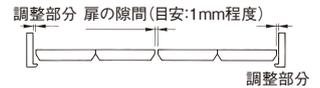
3. 反対側の扉をのぼし、上下固定する。



④ 扉の調整

- 扉間の隙間が約1mmになるよう、上下のストッパーの位置を調整する。

**注** 扉間の隙間は、左右均等に振り分けて調整してください。



■ 調整方法 ① 上部ランナーの調整 ② 下部ストッパー (軸受け金具) の調整

±3mmまで調整

調整用ねじ 上げる 下げる

調整用ねじ 上げる 下げる

プラスドライバー つかえる

※ 電動ドライバーは使用しないでください。

直付下レール 2調整

1ねじを緩める 3締める

ノン下レール 1ねじを緩める 3締める

2調整

±3mm

※ 収納スペースが少なく、調整しにくい場合は、扉を外して調整してください。

● 調整後、必ずしっかりとねじを締めてください。  
● 調整後、必ず2~3回開閉し、扉が確実に閉まっていることを確認してください。

⑤ 召し合わせの取り付け

- 扉に召し合わせを取り付ける。
- クローゼット内の棚板や中仕切りに干渉しない位置に取り付けてください。

直付下レール (3方枠) ノン下レール (3方枠)

取付位置の目安... 扉高さ / 2

取付位置の目安... 扉高さ / 2

※ 図は扉裏面

※ 図は扉裏面

扉の中央部と、下端の2か所に取り付ける。

● 扉のほぼ中央の高さで、隣り合う扉の段差が目立つ位置に取り付ける。

● 扉下端と部品下端を合わせる

部品の下端を合わせる

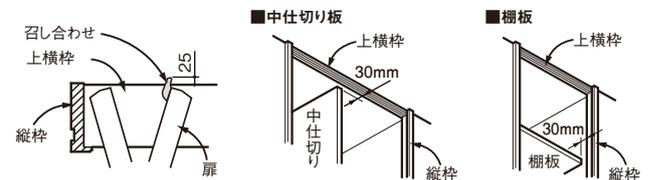
※ 下穴 (φ2.5mm) をあけてから取り付けてください。

トラス φ3.5×16 扉高さ 1/2

※ 下穴 (φ2.5mm) をあけてから取り付けてください。

トラス φ3.5×16

扉を開閉した際に、扉裏面の召し合わせは上横枠から最大25mmはみ出します。クローゼット内の棚板・中仕切りは、召し合わせと干渉しない位置に取り付けてください。



内装ドア

開き戸・引戸

折れ戸

戸襖ドア・戸襖引戸

幅広上吊り引戸

自動ドア

しきり窓

室内窓

収納用 建具

折れ戸

3枚連動引戸

開き扉

収納用 内部パーツ

玄関用 収納

クローゼットボックス

エントランス パーツ

コンポリア

造作部材・腰壁部材

スリット格子

窓枠セット ジャストカット オーダー

インテリアカウンター

階段・手すり

防音建材

室内物干しユニット

床下収納ユニット

点検口

はしごユニット

補修用 部材

収納用建具  
折れ戸

ペリティス	
商品	P.794
Ⓜオーダー	P.850
Ⓜオーダー発注書	P.868

新商品

内装ドア

- 開き戸・引戸
- 折れ戸
- 戸襖ドア・戸襖引戸
- 幅広上吊り引戸
- 自動ドア

しきり窓

室内窓

収納用建具

- 折れ戸
- 3枚連動引戸
- 開き扉

収納用内部パーツ

- 玄関用収納
- クロークボックス
- エントランスパーツ
- コンボリア

造作部材・腰壁部材

- スリット格子
- 窓枠セット  
ジャストカット  
オーダー
- インテリア  
カウンター

階段・手すり

防音建材

室内物干し  
ユニット

床下収納  
ユニット

点検口

はしご  
ユニット

補修用  
部材

施工のポイント (寸法単位: mm)

ご採用にあたってのご注意



- 後付け保護カバーは、折れ戸中央部の隙間に不用意に指などが触れ、挟み込むことを防ぐものです。故意に指を入れると、けがをするおそれがあります。
- この「後付け保護カバー」は当社製「収納用建具 折れ戸」専用部材です。  
「取付不可の扉」に使用した場合は、十分な機能を得ることができませんので、品質保証責任を負いかねます。
- 扉の全開角度が変わります。  
「後付け保護カバー」は、扉の折り曲げ部に挟み込んで取り付けます。そのため、扉を全開しても、少し戻ります。クローゼット内部に引き出しなどがある場合は、引き出しにくくなる場合があります。(フラットタイプ用のみ)
- 扉の表面に傷がつくおそれがあります。  
開閉時の隙間をカバーするため、「後付け保護カバー」と扉の表面が接しています。そのためご使用状況によって、開閉を繰り返すことにより、扉の表面に傷がついたり、風合いが変化するおそれがあります。



施工手順

■フラットタイプ用 後付け保護カバー

①扉を外す

※収納内部に作業するスペースがある場合は、扉を吊り込んだ状態で取り付けることも可能です。

- ロックレバーを上押し、扉を持ち上げて居室側に引き、仮固定状態にする。
- 扉を上部ランナーから引き離す。  
※躯体のくりによっては外れない場合があります。高さ調整で扉をできるだけ高く上げてください。

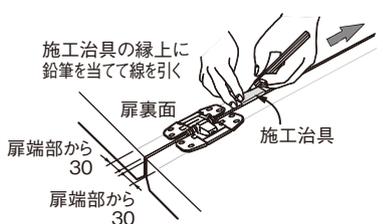


②扉を台に立て掛ける

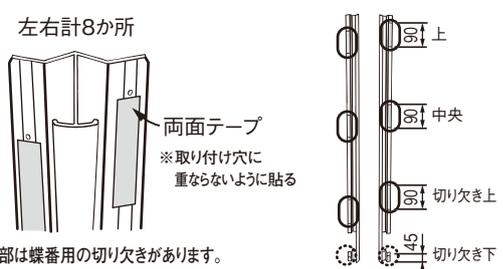


③扉裏面に取付位置出し線を引く

- 施工工具を扉の裏面より、折り曲げ部に差し込む。
- 取付位置出し線を引く。

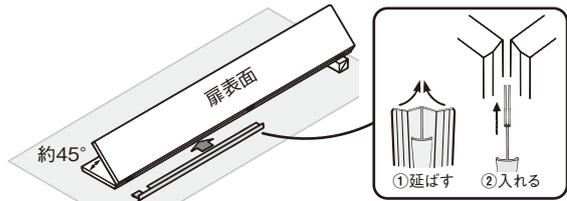


④同梱の両面テープを後付け保護カバーに貼る

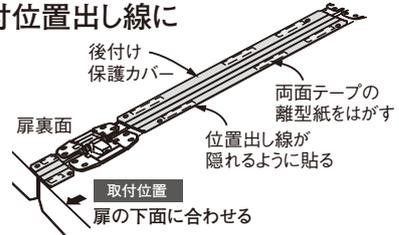


※下部は蝶番用の切り欠きがあります。

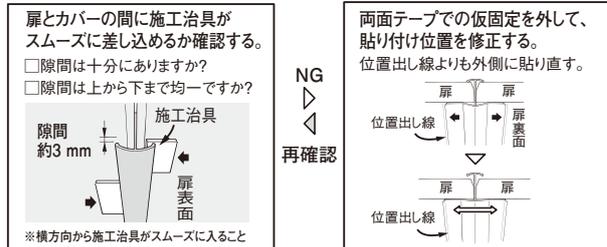
⑤扉を約45°に折った状態で、扉前面より後付け保護カバーを差し込む



⑥扉裏面の取付位置出し線に合わせて貼る

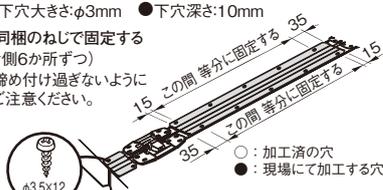


⑦扉表面と後付け保護カバーとの隙間を確認する



⑧下穴をあけて、ねじで固定する

- 下図の●印6か所に下穴をあける  
カバーの上から、扉にφ3.5以下のキリであける。  
●下穴大きさ:φ3mm ●下穴深さ:10mm
- 同梱のねじで固定する  
(片側6か所ずつ)  
※締め付け過ぎないようにご注意ください。



●ねじは必ず左右ずらして取り付けてください。左右のねじが同じ位置にあると、ねじの頭同士がぶつかり、扉が折り曲みきれなくなります。  
固定位置  
取付ねじは、扉左右で位置をずらしてください。

⑨扉を吊り込む



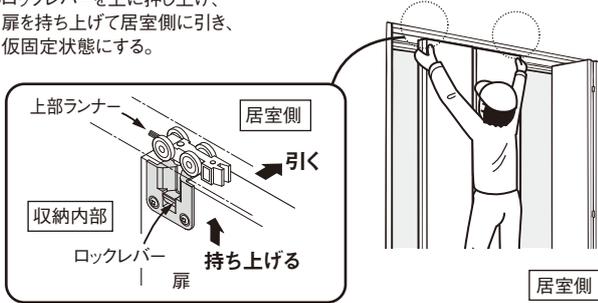
施工のポイント (寸法単位: mm)

施工手順

■ 取っ手レスタイプ専用後付け保護カバー

**① 扉を外す** ※収納内部に作業するスペースがある場合は、扉を吊り込んだ状態で取り付けることも可能です。

① ロックレバーを上押し、扉を持ち上げて居室側に引き、仮固定状態にする。

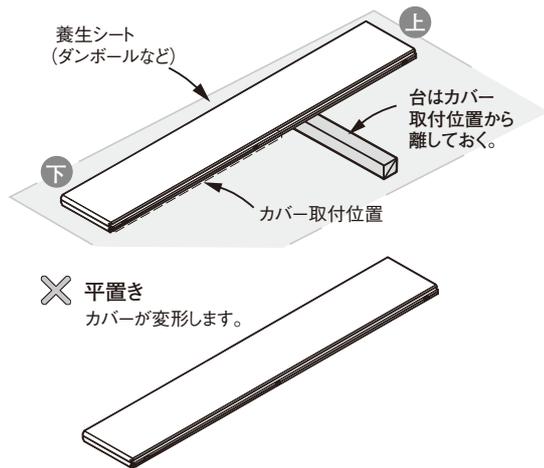


② 扉を上部ランナーから引き離す。

※躯体のくりにによっては外れない場合があります。高さ調整で扉をできるだけ高く上げてください。

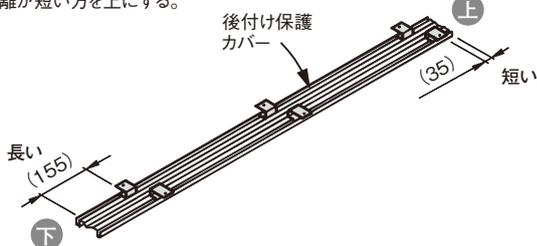


**② 扉を折り畳んだ状態で台に立て掛ける**



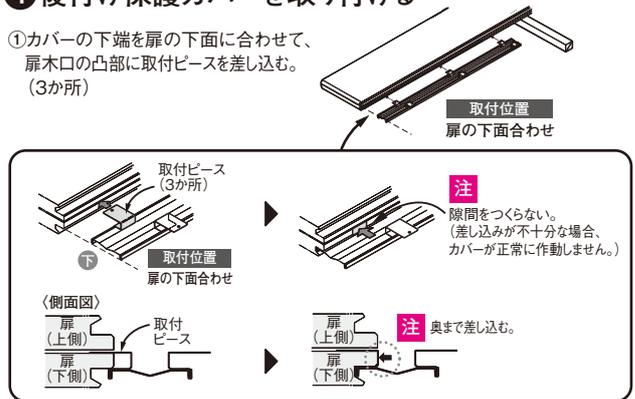
**③ 後付け保護カバーの上下を確認する**

カバーの端から取付ピースまでの距離が短い方を上にする。

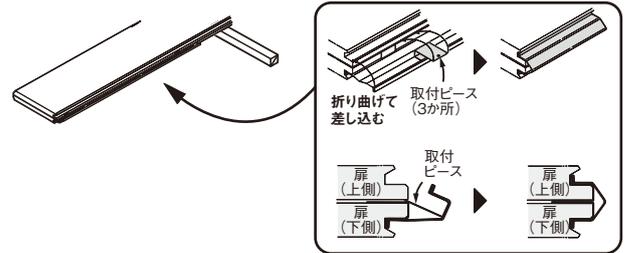


**④ 後付け保護カバーを取り付ける**

① カバーの下端を扉の下面に合わせて、扉木口の凸部に取付ピースを差し込む。(3か所)



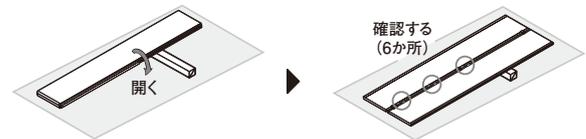
② カバーを折り曲げて、もう一方側の取付ピースも扉木口の凸部に差し込む。(3か所)



③ 後付け保護カバーを押さえて、取付ピースを扉木口の凸部に確実に入れる。



**⑤ 扉を開き、取付ピースの状態を確認する**



確認項目

□ 取付ピースは扉に対して斜めに付いていませんか?



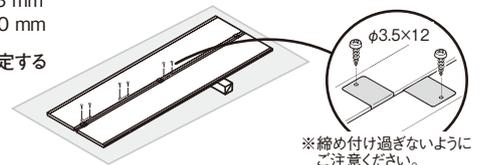
□ 扉と取付ピースの間に隙間がありませんか?



**⑥ 下穴をあけて、ねじで固定する(計6か所)**

① 下穴をあける  
金具の上から、扉にφ3.5以下のキリをあける。  
● 下穴大きさ: φ3 mm  
● 下穴深さ: 10 mm

② 同梱のねじで固定する



**⑦ 扉を開き、取付ピースの状態を確認する (左記⑤と同様)**

内装ドア

開き戸・引戸

折れ戸

戸襖ドア・戸襖引戸

幅広上吊り引戸

自動ドア

しきり窓

室内窓

収納用建具

折れ戸

3枚連動引戸

開き扉

収納用内部パーツ

玄関用収納

クロークボックス

エントランスパーツ

コンポリア

造作部材・腰壁部材

スリット格子

窓枠セット

ジャストカット

オーダー

インテリアカウンター

階段・手すり

防音建材

室内物干しユニット

床下収納ユニット

点検口

はしごユニット

補修用部材